

令和4年度 第2回 楽寿園運営委員会 議事要旨

1 日 時 令和4年11月4日（金）午後1時30分～3時00分

2 場 所 市民文化会館 3階 大会議室

3 出席者 委員 13名 アドバイザー2名

4 議事等

(1) 会長あいさつ

(2) 報告

令和4年三島市議会9月定例会で、野村議員から9件の一般質問があり、その答弁を抜粋して報告。【事務局説明】

(3) 議事

①前回の運営委員会から【事務局説明】

○動物をもっと入れても良いのでは。例えば、温泉に入るカピバラは。

⇒動物の交換が成立し、カピバラは2頭体制となっている。

○桜御殿の委員への公開を。

⇒●●委員のご厚意により11/4本運営委員会開催前に実施。

○ツイッターやインスタグラムでは、イベントの出店者等がわかりにくい。

⇒ホームページやSNSにリンクの張りつけを依頼している。

○入口の樹木がうっそうとし入りにくい。視認性を良くして入りやすくしては。

⇒シンボルツリーは樹形を大事に管理、そうでない木は適切に管理する。清掃作業もしっかり行い、丁寧に管理していく。

○せっかくやっている内容で、まだまだ知られていない部分があるのではないか。SNSの情報の発信や紐づけについては如何か。

⇒SNSの紐づけを依頼していく。

②令和4年度事業報告【事務局説明】

○入園者数

・毎年11月は菊まつり期間中で、他の月の2倍以上、5～6万人となる。

・令和2年8月は小浜池の満水効果。

・平成30年と令和4年4月～9月では、令和4年が4,519人減と、平成30年に準じた入園者数。

この調子でいけば、年間30万人も視野に入る。

外国からの入国緩和と魅力的なイベントの開催が功を奏している。

○イベント開催実績及び開催見込

○第70回楽寿園菊まつり開催

○楽寿園応援隊

○朝開園試行総括

・楽寿園の収支に配慮し、コロナ禍のフレックスタイム制を活用。

・主な来園対象を観光客とした。アンケート結果では好意的な意見が多かった。

・課題

職員に勤務を求める際、人件費予算が発生。

樹木の剪定、伐採等の安全管理の業務が困難になる。

来園対象を不特定多数に拡大すると、相応の受入体制が必要となる

- ・ 今後は、75周年記念、スポット的、イベントとして仕立てる等、解決策を分析し、今後の対応を研究していきたい。

○観光アンバサダー、移住アンバサダーに SNS 発信を依頼

- ・ 観光アンバサダーのももさんを紹介。(三島から都内の大学に通う大学生) 無償でつぶやき、楽寿園のことを宣伝、リツイートもしていただいている。
- ・ このような方々を大事にし、宣伝部隊となっていただきたいと期待している。

【 質 疑 応 答 】

(〇〇委員) 朝開園では、実際にトラブルやクレームはあったのか。

(園長) 皆さん紳士的で好意的な対応だったので、トラブルやクレームは無し。

(会長) 伊豆半島の直近の状況はいかがか。

(〇〇委員) 大河ドラマ館と伊豆半島を一周してもらうための相互割引を行っているが、大河ドラマ館と楽寿園が一番多い。屋外施設ということもあり他の施設よりも成績が良い。

(会長) 楽寿園では、ほとんどの土・日は何らかのイベントを行っている。また、楽寿園は地元の方と観光客の両方が来るので、人の動きのバロメーターとなるのかな、と思う。注目していきたい。

(会長) 応援隊として何かいかがか。

(〇〇委員) 来られる方が来るという感じ。足手まといにならないように努めていた。

(園長) 応援隊だけでなく、いろいろなボランティアの方にご協力いただき 10 月 29 日を迎えることができた。本当にありがたいと思っている。

(会長) 菊まつり以外で、万葉の森の整備もフォレストクラブの皆さんに引き続きのご支援をいただいているが、何かいかがか。

(〇〇委員) 月 2 回万葉の森に関わっている。樹名板や歌詞がもうちょっと何とかなると見栄えが良くなる。

(園長) 対応検討していく。

(会長) 朝活動の全体的なことについて、観光協会から何か一言。

(〇〇委員) 新しい観光マーケットの開拓で朝の試みを行った。楽寿園の朝開園は宿泊したビジネス客が朝ちょっと散歩に行ける。三島は朝の魅力が高い町。そういう意味で朝開園は大変有意義。観光アンバサダーは無償で依頼しているので、楽寿園からの無料入園券はありがたい。

- (会長) 中郷の農業用水は減っているか。
- (〇〇委員) 今年減っている。東レから水をもらっているが、早めにもらえると小浜池に水をためることができるのではないか。
- (園長) 小浜池に水を入れた実験を行ったこともあるが、水がたまるのは一瞬。すぐに水が引いてしまう。
- (〇〇委員) 必要な時に小浜池で貯めた水を使えると、農業用水として使いやすい。
- (〇〇委員) 小浜池はザル構造で、水をためるのは不可能。国の天然記念物のため、手を加えることはできない。

③令和5年度事業予定【事務局説明】

○アフターコロナに向けて

- ・水際対策の緩和から、外国人旅行者が増えつつあり、外国語パンフレットの増刷、自動翻訳機の更新を行いたい。

○クラウドファンディングの活用

- ・楽寿園応援隊の方々や東海鉄道OB会の皆さんに、日頃から整備をいただいているSLC58322号機にフォーカスして支援をお願いしたい。
- ・寄付の活用は、屋根の塗装、プレートの復元、電源の設置を予定。
- ・楽寿園には応援してもらいたいことがたくさんあるが、手始めにSLから。

○包括管理委託の導入

- ・楽寿園が契約、委託している事業の中から20業務を、業務を包括するマネジメント会社を経由して委託するよう変更となる。
- ・60万円未満の緊急修繕も、包括管理委託の対象。
- ・楽寿園では対象業務について、不具合個所の依頼などに業務が限定されるため、軽減された時間を新規事業に傾注していく。

○市民とともに歩み続ける楽寿園を目指して

- ・ボランティアとの協働を引き続き進めていきたい。また、ボランティアの方々が活動できるいろいろなメニューを用意し、参画していきやすい仕組みづくりというの、考えていきたい。

【 質 疑 応 答 】

- (〇〇委員) 樹木の管理は相当の技量が伴う。安い会社はいい加減にやってしまう。
- (園長) 樹木の管理は1年1年で成り立つものではない。樹木管理の継続性やこれまでの整備方針、理念もある。そういったものも踏襲しながら、業者が選定されていくものと思う。
- (会長) 三島市から意見はできるのか。
- (園長補佐) 楽寿園、公共財産保全課、予定事業者で協議を進めていく。
- (会長) 契約期間は。
- (園長補佐) 5年間

(会長) 5年間という長い期間になるので、おまかせにならないように。
契約期間中の審査やチェック機能はあるのか。

(園長) その機会はあるので、話すことはできると思う。

(〇〇委員) クラウドファンディングの目標額は。また、歳入は一般会計に入るのか

(園長) 目標額は600万円。歳入は一般会計に入る。

(〇〇委員) 山中城でも行ったが、単発の課では3年が限界。市全体で楽寿園のためにクラウドファンディングを進めていくのであれば、永続的に進めていけると
思う。

(会長) 三島市内の企業から、企業版ふるさと納税はできないか。

(園長) 市外に本社を持つ企業が対象になるので、できない。

(〇〇委員) 返礼品は何を検討しているか。

(園長) 一般的なふるさと納税の返礼品として、硬券の楽寿園バージョン、汽笛をなら
す体験、既存のプレートの拓本を見せるといったことも考えている。

(〇〇委員) 山中城は、返礼品はほとんどなし。城に入れる体験と御城印300円のみ。
体験したいのは、SLも同じと思う。SLを近くでその姿を見たいという
体験を売りに出せば、おそらく返礼品は関係ない。

(会長) 観光アンバサダーは何人？

(〇〇委員) 8人。うち外国人は0人。川越の方が1人いる。

(会長) 日本大学に留学生がいるのでは？

(〇〇委員) ほとんどがアジア系。

(会長) 海外の方を、これからは間違いなく意識していくことになると思う。

(会長) ビアガーデンを一番町商店街さんで来年やろうかみたいな話があるか。

(〇〇委員) お店を持ちながらは大変。雨のリスクもある。やりたいところがあれば説明は
する。

④その他

(〇〇委員) 授業で3年ぶりに大学3年生に楽寿園の中を見て課題を出し、それぞれの施設
に対して5段階評価をしてもらおう。以前は手書きだったがデータ入力できる
ようにする。どこかの段階で結果をお見せしたい。

(〇〇委員) 駅前口の看板が見えにくい。学生はインスタなど、楽寿園に入ったとわかり
やすさを求める。また、正門が夜暗い。文化会館のようにライトアップしては。

(〇〇委員) ふるさとガイドの仕事は右肩上がりだが、楽寿館や小松宮様は知られていな
い。ご案内すると「そんな貴重なものがあつたのか」となる。発信の仕方を研
究していきたい。